



2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年2月12日

上場会社名 PHCホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6523 URL <https://www.phchd.com/jp/ir>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 出口 恭子
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 上席部長 (氏名) 木村 正志 TEL 03-6695-9938
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	266,910	4.0	17,028	-	12,491	-	7,581	-	7,639	-	9,845	-
2024年3月期第3四半期	256,683	△3.2	△5,128	-	△13,778	-	△11,159	-	△11,154	-	△2,885	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	60.58	60.33
2024年3月期第3四半期	△88.70	△88.70

(参考) 持分法による投資損益 2025年3月期第3四半期△274百万円 2024年3月期第3四半期△180百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	546,389	144,474	144,894	26.5
2024年3月期	564,327	139,163	139,515	24.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	36.00	-	18.00	54.00
2025年3月期	-	21.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	1.7	21,100	-	15,800	-	10,300	-	10,300	-	81.67

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 2025年3月期の連結業績予想について、詳細は添付資料P.9「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	126,361,672株	2024年3月期	126,244,271株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	211,941株	2024年3月期	211,941株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	126,110,111株	2024年3月期3Q	125,752,678株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) キャッシュ・フローに関する説明	8
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	10
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	12
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(セグメント情報)	17
(売上収益)	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2025年3月期よりセグメントの内訳を変更いたしました。

従来、糖尿病マネジメントに含まれていた診断薬事業及びヘルスケアソリューションのLSIM事業に含まれていた診断薬事業を、診断・ライフサイエンスに移管し、診断薬事業として区分しました。また、従来ヘルスケアソリューションのLSIM事業に含まれていた創薬支援事業を、同じヘルスケアソリューションの中でCRO事業として区分しました。

以下の文章は変更後の区分にて記載いたします。

当第3四半期連結累計期間（以下、「当期」）における当社グループの売上収益は266,910百万円（前年同期比4.0%増）となりました。糖尿病マネジメントは為替の好影響を受け前年同期と同等の売上となりました。ヘルスケアソリューションは2023年10月に実施したM&Aの効果や電子処方箋管理ソフトウェアの需要増等により増収となりました。また、診断・ライフサイエンスは市況停滞の影響を受けつつも、為替の好影響もあり前年同期と同等の売上となりました。

営業利益は17,028百万円（前年同期は5,128百万円の損失）となり、すべてのセグメントで増益でした。糖尿病マネジメントの増益は血糖値測定システム（BGM）事業の減収影響は継続したものの、一時費用の減少及び持続血糖測定器（CGM）事業の利益改善等が要因です。ヘルスケアソリューションの増益はLSIM事業において前年同期に12,737百万円の減損損失があったことやコスト削減効果、ヘルスケアITソリューション事業における利益率の高い製品の販売増等によるものです。また、診断・ライフサイエンスの増益は病理事業の増収影響及びコスト削減効果に加え、診断薬事業で前年同期に1,246百万円の減損損失があったこと及び一時費用の減少等が要因です。

調整後EBITDAは38,307百万円（前年同期比13.7%増）となりました。主な当該調整項目としては、一時的な事業構造改革関連収益・費用（当期666百万円加算、前年同期4,484百万円加算）、一時的なその他の収益・費用（当期636百万円減算、前年同期76百万円加算）がありました。

税引前四半期利益は12,491百万円（前年同期は13,778百万円の損失）となりました。これは主に、営業利益の増加に加え為替差損の減少によるものです。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は7,639百万円（前年同期は11,154百万円の損失）となりました。

なお、従来記載しておりましたキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益及び算出表は、2024年11月13日公表の中期経営計画において同指標を配当性向の基準としていた従来の配当方針を変更したことを踏まえ、当期より記載を省略いたします。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	256,683	266,910	4.0%
営業利益（△は損失）	△5,128	17,028	—
EBITDA	31,466	38,250	21.6%
調整後EBITDA	33,677	38,307	13.7%
税引前四半期利益（△は損失）	△13,778	12,491	—
四半期利益（△は損失）	△11,159	7,581	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益（△は損失）	△11,154	7,639	—
米ドル平均レート（円）	143.18 円	152.46 円	9.28 円
ユーロ平均レート（円）	155.32 円	164.76 円	9.44 円

（注）EBITDA、調整後EBITDAは国際会計基準（IFRS）に基づく開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益（△は損失）	△5,128	17,028	—
+ 減価償却費	20,458	21,338	4.3%
+ 減損損失（有価証券等を除く）	16,135	△117	—
EBITDA	31,466	38,250	21.6%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	204	27	△86.8%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	4,484	666	△85.1%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	△2,553	—	—
+ 一時的な役員報酬	—	—	—
+ 一時的なその他の収益・費用	76	△636	—
調整後EBITDA	33,677	38,307	13.7%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失（有価証券等を除く）

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

セグメント別の状況
糖尿病マネジメント

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	74,415	74,214	△0.3%
営業利益	9,106	10,544	15.8%
EBITDA	14,236	15,415	8.3%
調整後EBITDA	17,001	15,780	△7.2%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	9,106	10,544	15.8%
+ 減価償却費	5,129	4,951	△3.5%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	—	△80	—
EBITDA	14,236	15,415	8.3%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	—	—	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	2,661	373	△86.0%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	△9	—	—
+ 一時的な役員報酬	—	—	—
+ 一時的なその他の収益・費用	112	△8	—
調整後EBITDA	17,001	15,780	△7.2%

(注) 1. 従来糖尿病マネジメントに含まれていた診断薬事業を、2025年3月期より診断・ライフサイエンスに移管しました。それに伴い、2024年3月期の数値も組み替えて記載しております。

2. EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\begin{aligned} \text{EBITDA} &= \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)} \\ \text{調整後EBITDA} &= \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用} \end{aligned}$$

<売上収益の状況>

当期の糖尿病マネジメントの売上収益は、74,214百万円(前年同期比0.3%減)と、前年同期同等となりました。BGM事業は、為替の好影響を受けた一方、欧米等の先進国市場における市場縮小、低価格チャネルへの移行及び米国における販売協業終了の影響が継続し、若干の減収となりました。欧州市場においても、当社の市場シェアは拡大しているものの、市場の縮小影響を補うには至りませんでした。CGM事業は米国において1年間継続使用が可能なEversense 365を当第3四半期連結会計期間に発売したこと等により増収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の糖尿病マネジメントの営業利益は、10,544百万円(前年同期比15.8%増)となりました。これはBGM事業において、減収影響の他、為替による販管費の増加、販売チャネル構成及び先進国・新興国の販売割合の変化による利益率の低下があったものの、前年同期に計上した事業構造改革関連費用が当期では大幅に減少したこと、CGM事業の増収による利益改善等によるものです。

調整後EBITDAは15,780百万円(前年同期比7.2%減)となりました。主な当該調整項目として、一時的な事業構造改革関連収益・費用(当期373百万円加算、前年同期2,661百万円加算)の計上がありました。

ヘルスケアソリューション

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	85,753	94,202	9.9%
営業利益(△は損失)	△11,447	5,959	—
EBITDA	8,657	13,404	54.8%
調整後EBITDA	9,425	13,431	42.5%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益(△は損失)	△11,447	5,959	—
+ 減価償却費	7,367	7,445	1.1%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	12,737	—	—
EBITDA	8,657	13,404	54.8%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	140	26	△81.4%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	627	—	—
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	—	—	—
+ 一時的なその他の収益・費用	—	—	—
調整後EBITDA	9,425	13,431	42.5%

(注) 1. 従来ヘルスケアソリューションのLSIM事業に含まれていた診断薬事業を、2025年3月期より診断・ライフサイエンスに移管しました。それに伴い、2024年3月期の数値も組み替えて記載しております。また、LSIM事業に含まれていた創薬支援事業をCRO事業として区分しました。

2. EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\begin{aligned} \text{EBITDA} &= \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)} \\ \text{調整後EBITDA} &= \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用} \end{aligned}$$

<売上収益の状況>

当期のヘルスケアソリューションの売上収益は、94,202百万円(前年同期比9.9%増)となりました。内訳として、LSIM事業が49,886百万円(前年同期比1.1%増)、ヘルスケアITソリューション事業が37,887百万円(前年同期比26.2%増)、CRO事業が6,429百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

LSIM事業は、特殊検査やコロナ関連検査等が減少した一方、一般検査の増加や成長施策として取り組んでいる遺伝子分野の検査売上の増加等により前年同期と同等の売上となりました。

ヘルスケアITソリューション事業は、前年同期に義務化の影響による一時需要があったオンライン資格確認システムの需要減による減収を電子処方箋管理ソフトウェアの需要増に伴う増収が補うとともに、2023年10月に取得手続きを完了した富士フイルムヘルスケアシステムズ株式会社の電子カルテ・レセプト関連事業の売上貢献により増収となりました。

CRO事業は、治験事業が減収となったものの、非臨床事業における大型安全性試験の完成により前年同期と同等の売上となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期のヘルスケアソリューションの営業利益は、5,959百万円(前年同期は11,447百万円の損失)となりました。これは主に、LSIM事業が前年同期に12,737百万円の減損損失を計上も当期では発生していないことやコスト削減等により大幅な増益となったこと、ヘルスケアITソリューション事業においてオンライン資格確認システムの需要減の影響や人件費の増加等は継続したものの利益率の高い電子処方箋管理ソフトウェアの売上が増加したことが要因です。

調整後EBITDAは、13,431百万円(前年同期比42.5%増)となりました。主な当該調整項目として、一時的なM&A関連収益・費用(当期26百万円加算、前年同期140百万円加算)の計上がありました。

診断・ライフサイエンス

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上収益	94,753	96,060	1.4%
営業利益	4,471	6,722	50.3%
EBITDA	15,329	15,180	△1.0%
調整後EBITDA	13,446	14,683	9.2%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
営業利益	4,471	6,722	50.3%
+ 減価償却費	7,459	8,458	13.4%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	3,398	—	—
EBITDA	15,329	15,180	△1.0%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	63	—	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	641	134	△79.1%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	△2,543	—	—
+ 一時的な役員報酬	—	—	—
+ 一時的なその他の収益・費用	△44	△631	—
調整後EBITDA	13,446	14,683	9.2%

(注) 1. 従来、糖尿病マネジメントに含まれていた診断薬事業及びヘルスケアソリューションのLSIM事業に含まれていた診断薬事業を、2025年3月期より診断・ライフサイエンスに移管し、診断薬事業として区分しました。それに伴い、2024年3月期の数値も組み替えて記載しております。

2. EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)}$$

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用}$$

<売上収益の状況>

当期の診断・ライフサイエンスの売上収益は、96,060百万円(前年同期比1.4%増)となりました。内訳として、病理事業が43,235百万円(前年同期比9.3%増)、バイオメディカ事業が38,160百万円(前年同期比4.2%減)、診断薬事業が14,663百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

病理事業は、市況低迷による機器販売低迷や中国が需要減少等の影響で減収となったものの、為替の好影響及び米州・欧州において消耗品販売が好調であったこと等により大幅な増収となりました。

バイオメディカ事業は、為替の好影響があったものの、主に日本・中国を含めたアジア地域での需要減少の影響を受け減収となりました。研究・医療支援機器分野では、特に日本での製薬企業の大規模案件が減少したことが減収の大きな要因となりました。欧米地域は市況低迷の影響を受けるも、為替の好影響や、製薬・バイオテックに加え大学、病院・クリニック向けの小口案件の積み上げにより、前年同期と同等の売上となりました。調剤支援機器・その他売上は、販売先の米国市場における旧機種切替キャンペーンの奏功により上半期は増収となりましたが、旧機種の切替が一巡したことで当期では減収となりました。

診断薬事業は、移動式免疫発光測定装置パスファースト関連売上が堅調に推移したことに加え、一時的な収益の計上があったものの、電動式医薬品注入器の販売減少等の影響により減収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の診断・ライフサイエンスの営業利益は、6,722百万円(前年同期比50.3%増)となりました。

バイオメディカ事業は研究・医療支援機器分野の減収及びそれに伴う生産調整の影響等により減益となった一方、病理事業が増収及び輸送費低減等のコスト削減施策を背景とした利益率の改善により増益となったこと、診断薬事業が前年同期に1,246百万円の減損損失を計上も当期では発生していないことや事業構造改革関連費用が減少したこと及び一時収益により増益となったことが要因です。

調整後EBITDAは、14,683百万円（前年同期比9.2%増）となりました。主な当該調整項目には、一時的な事業構造改革関連収益・費用（当期134百万円加算、前年同期641百万円加算）、一時的なその他の収益・費用（当期631百万円減算、前年同期44百万円減算）がありました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて17,937百万円減少し、546,389百万円となりました。この主な要因は、借入金の返済等により現金及び現金同等物が10,520百万円減少したこと、過去の買収により発生した無形資産の償却が進んだこと等により無形資産が7,005百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べて23,248百万円減少し、401,915百万円となりました。この主な要因は、返済が進んだこと等により借入金が21,398百万円減少したこと等によるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末と比べて5,311百万円増加し、144,474百万円となりました。この主な要因は、在外営業活動体の換算差額等によりその他の資本の構成要素が2,594百万円増加したこと、主に四半期利益を7,639百万円、支払配当を△4,917百万円計上した結果、利益剰余金が2,581百万円増加したこと等によるものであります。また、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の24.7%から1.8ポイント増加して26.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ10,520百万円減少し、36,523百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動からの現金純額は27,677百万円であり、前年同期比864百万円の収入の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用された現金純額は6,217百万円であり、主として有形固定資産及び無形資産の取得による支出8,325百万円から構成されております。前年同期から10,855百万円の支出の減少となりましたが、当該減少の主な要因は、前四半期連結会計期間において連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が11,440百万円生じていたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用された現金純額は30,662百万円であり、主として長期借入金の返済による支出20,204百万円及びリース負債の返済による支出5,268百万円から構成されております。

(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想を以下のとおり修正します。

当期の連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前 利益 (△は損 失) (百万円)	当期利益 (△は損 失) (百万円)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益 (△は損 失) (百万円)	基本的1 株当たり 当期利益 (△は損 失) (円)	*調整後 EBITDA (百万円)
前回発表予想 (A)	360,000	19,100	13,900	10,300	10,300	81.55	48,400
今回修正予想 (B)	360,000	21,100	15,800	10,300	10,300	81.67	50,000
増減額 (B-A)	—	2,000	1,900	—	—	0.12	1,600
増減率 (%)	—	10.5	13.7	—	—	0.15	3.3
(参考) 前期連結実績 (2024年3月期)	353,900	1,566	△13,249	△12,857	△12,893	△102.48	49,713

(注) 調整後EBITDAは以下の算式により算出しております。

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益} \cdot \text{費用}$$

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失 (有価証券等を除く)}$$

*調整後EBITDAは国際会計基準(IFRS)に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

当期までの実績及び為替レートの動向を反映し、営業利益で2,000百万円、税引前利益1,900百万円、業績予想を上方修正いたします。

為替レートは1ユーロ151円を164円に、1米ドル141円を153円にそれぞれ変更いたします。

売上収益は前回発表予想から変更はありません。通期で為替の好影響を織込み、当期までの実績における糖尿病マネジメント及びヘルスケアソリューションの好調さを反映した一方、診断・ライフサイエンスにおける機器需要の回復の遅れによる影響を考慮し、売上収益は前回発表予想を維持いたします。

営業利益は、診断・ライフサイエンスについて従来第4四半期に新製品の発売や市況の回復による好影響を想定していたことから今回一定のリスクを織り込みますが、糖尿病マネジメントで好調に推移するBGM事業の業績や、ヘルスケアソリューションにおけるヘルスケアITソリューション事業の電子処方箋需要獲得、LSIM事業のコスト削減効果をそれぞれ反映し、2,000百万円上方修正いたします。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、税額調整を保守的に想定し、前回発表予想を維持いたします。

なお、セグメント別の業績予想は以下のとおりです。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上収益		営業利益(損失)		調整後EBITDA	
	前回 発表予想	今回 発表予想	前回 発表予想	今回 発表予想	前回 発表予想	今回 発表予想
糖尿病マネジメント	94,000	98,000	12,000	13,800	18,300	20,400
ヘルスケアソリューション	125,800	127,000	7,700	8,700	18,100	19,000
診断・ライフサイエンス	137,900	132,000	9,900	8,200	21,300	19,200
本社・その他	2,300	3,000	△10,400	△9,700	△9,300	△8,600

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	47,044	36,523
営業債権	73,802	69,123
棚卸資産	52,651	58,129
その他の金融資産	4,775	4,183
その他の流動資産	9,575	7,780
流動資産合計	187,849	175,741
非流動資産		
有形固定資産	49,708	49,006
のれん	208,719	210,487
無形資産	91,388	84,382
持分法で会計処理されている投資	2,188	1,945
その他の金融資産	13,987	13,255
繰延税金資産	7,058	9,898
その他の非流動資産	3,426	1,671
非流動資産合計	376,477	370,648
資産合計	564,327	546,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	69,881	69,077
借入金	36,922	35,993
未払法人所得税等	2,311	5,697
引当金	6,587	6,512
その他の金融負債	6,251	5,984
その他の流動負債	25,445	21,037
流動負債合計	147,400	144,303
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	847	632
借入金	248,123	227,653
退職給付に係る負債	5,709	6,405
引当金	3,431	3,983
その他の金融負債	9,200	8,706
繰延税金負債	9,109	8,844
その他の非流動負債	1,340	1,384
非流動負債合計	277,763	257,611
負債合計	425,163	401,915
資本		
資本金	48,423	48,551
資本剰余金	41,797	41,874
利益剰余金	△2,773	△192
自己株式	△568	△568
その他の資本の構成要素	52,635	55,229
親会社の所有者に帰属する持分合計	139,515	144,894
非支配持分	△351	△420
資本合計	139,163	144,474
負債及び資本合計	564,327	546,389

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	256,683	266,910
売上原価	140,801	141,765
売上総利益	115,881	125,145
販売費及び一般管理費	112,115	108,251
その他の収益	3,358	672
その他の費用	12,072	262
持分法による投資損益(△は損失)	△180	△274
営業利益(△は損失)	△5,128	17,028
金融収益	552	306
金融費用	9,202	4,844
税引前四半期利益(△は損失)	△13,778	12,491
法人所得税費用	△2,619	4,910
四半期利益(△は損失)	△11,159	7,581
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	△11,154	7,639
非支配持分	△4	△58
1株当たり四半期利益(△は損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△88.70	60.58
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失) (円)	△88.70	60.33

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益 (△は損失)	△11,159	7,581
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△238	△531
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	△1,098	23
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	67	△12
在外営業活動体の換算差額	9,892	2,772
持分法によるその他の包括利益	△348	12
税引後その他の包括利益	8,273	2,264
四半期包括利益	△2,885	9,845
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△2,928	9,914
非支配持分	43	△68
四半期包括利益	△2,885	9,845

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2023年4月1日時点の残高	47,946	43,641	17,081	△568	—	550	△52
四半期包括利益							
四半期利益(△は損失)	—	—	△11,154	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△238	△1,098	67
四半期包括利益合計	—	—	△11,154	—	△238	△1,098	67
新株の発行	406	△216	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△9,043	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストリクテッド・ストック・ユニットの失効	—	△14	14	—	—	—	—
株式報酬取引	—	3	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△1,566	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	66	—	238	△304	—
所有者との取引額合計	406	△1,793	△8,962	—	238	△304	—
2023年12月31日時点の残高	48,353	41,848	△3,035	△568	—	△852	14

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計			
2023年4月1日時点の残高	28,742	666	29,906	138,008	819	138,827
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)	—	—	—	△11,154	△4	△11,159
その他の包括利益	9,844	△348	8,225	8,225	48	8,273
四半期包括利益合計	9,844	△348	8,225	△2,928	43	△2,885
新株の発行	—	—	—	190	—	190
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	△9,043	—	△9,043
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	△187	△187
新株予約権及びリストリクテッド・ストック・ユニットの失効	—	—	—	△0	—	△0
株式報酬取引	—	—	—	3	—	3
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△1,566	△1,044	△2,611
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△66	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△66	△10,415	△1,232	△11,648
2023年12月31日時点の残高	38,586	318	38,066	124,663	△369	124,293

当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2024年4月1日時点の残高	48,423	41,797	△2,773	△568	—	△1,110	△3
四半期包括利益							
四半期利益(△は損失)	—	—	7,639	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△531	23	△12
四半期包括利益合計	—	—	7,639	—	△531	23	△12
新株の発行	128	△91	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△4,917	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストリクテッド・ストック・ユニットの失効	—	△180	178	—	—	—	—
株式報酬取引	—	348	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△319	—	531	△212	—
所有者との取引額合計	128	76	△5,058	—	531	△212	—
2024年12月31日時点の残高	48,551	41,874	△192	△568	—	△1,299	△16

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計			
2024年4月1日時点の残高	53,380	369	52,635	139,515	△351	139,163
四半期包括利益						
四半期利益(△は損失)	—	—	—	7,639	△58	7,581
その他の包括利益	2,783	12	2,275	2,275	△10	2,264
四半期包括利益合計	2,783	12	2,275	9,914	△68	9,845
新株の発行	—	—	—	36	—	36
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	△4,917	—	△4,917
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストリクテッド・ストック・ユニットの失効	—	—	—	△2	—	△2
株式報酬取引	—	—	—	348	—	348
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	319	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	319	△4,534	—	△4,534
2024年12月31日時点の残高	56,163	381	55,229	144,894	△420	144,474

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	△13,778	12,491
減価償却費及び償却費	20,458	21,338
減損損失(△は戻入れ)	16,135	△117
支払利息	5,261	4,594
営業債権の増減額(△は増加)	11,268	5,115
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,573	△5,412
営業債務の増減額(△は減少)	△2,955	292
その他	△2,791	△4,795
小計	32,026	33,507
利息及び配当金の受取額	582	307
利息の支払額	△4,651	△5,027
法人所得税の支払額	△6,026	△3,297
法人所得税の還付額	6,611	2,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,541	27,677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△10,679	△8,325
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	268	547
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△11,440	—
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△351	—
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	3,821	307
その他	1,308	1,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,072	△6,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,000	△720
長期借入による収入	62,215	228
長期借入金の返済による支出	△82,229	△20,204
リース負債の返済による支出	△4,446	△5,268
株式の発行による収入	194	37
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△2,611	—
親会社の所有者への配当金の支払額	△8,754	△4,732
その他	△500	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,133	△30,662
現金及び現金同等物の為替変動による影響	2,633	△1,317
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△17,030	△10,520
現金及び現金同等物の期首残高	60,933	47,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,902	36,523

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 報告セグメント

各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業内容
糖尿病マネジメント	血糖値測定システム (BGM) の開発製造販売、持続血糖測定システム (CGM) の販売
ヘルスケアソリューション	臨床検査事業の展開、レセプトコンピュータ・電子カルテ等医療IT製品の開発販売、創薬支援事業の展開
診断・ライフサイエンス	病理検査機器、研究・医療支援機器、診断薬・診断機器並びに電動式医薬品注入器等の開発製造販売

(注) 当社は、2025年3月期よりセグメントの内訳を変更しております。

従来、「糖尿病マネジメント」に含まれていた診断薬事業及び「ヘルスケアソリューション」のLSIM事業に含まれていた診断薬事業を「診断・ライフサイエンス」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、この変更を反映したものに組み替えて表示しております。

② セグメント収益及び業績

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	74,415	85,753	94,753	254,923	1,760	256,683
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	74,415	85,753	94,753	254,923	1,760	256,683
営業利益（△は損失）	9,106	△11,447	4,471	2,131	△7,259	△5,128
金融収益						552
金融費用						9,202
税引前四半期利益（△は損失）						△13,778
その他項目						
減価償却費及び償却費	5,129	7,367	7,459	19,956	502	20,458
減損損失（△は戻入れ）	—	12,737	3,398	16,135	0	16,135

- (注) 1. 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
2. 値上げやコスト削減等の施策により業績改善に一定の成果は見られるものの、業績と事業計画の間に乖離が生じていること、減損テストに当たって使用する割引率の算定の基礎となるリスクフリーレートが上昇したこと等を考慮して総合的に判断した結果、当社グループは、前第2四半期連結会計期間において、病理資金生成単位に配分されたのれんについて減損の兆候があると判断いたしました。病理資金生成単位について減損テストを実施した結果、当該資金生成単位の帳簿価額が回収可能価額より高いと算定されたため、当社グループは前第2四半期連結会計期間において2,147百万円の減損損失を認識いたしました。当該減損損失は、要約四半期連結損益計算書上、「その他の費用」に含まれております。
3. 新型コロナウイルス感染症収束後に感染症拡大前の水準まで検査数が回復する前提の事業計画でありましたが、業績と事業計画の間に乖離が生じていること等を考慮して総合的に判断した結果、当社グループは、前第3四半期連結会計期間において、臨床検査資金生成単位に配分されたのれんについて減損の兆候があると判断いたしました。臨床検査資金生成単位について減損テストを実施した結果、当該資金生成単位の帳簿価額が回収可能価額より高いと算定されたため、当社グループは前第3四半期連結会計期間において12,737百万円の減損損失を認識いたしました。当該減損損失は、のれん及び無形資産に配分されており、要約四半期連結損益計算書上、それぞれ「その他の費用」並びに「販売費及び一般管理費」に含まれております。
4. 臨床検査資金生成単位における業績の実績と事業計画の乖離を受け、LSIM診断薬資金生成単位の減損テストに当たって適用される割引率の上昇が見込まれたこと等により、当社グループは、前第3四半期連結会計期間において、LSIM診断薬資金生成単位に配分されたのれんについて減損の兆候があると判断いたしました。LSIM診断薬資金生成単位について減損テストを実施した結果、当該資金生成単位の帳簿価額が回収可能価額より高いと算定されたため、当社グループは前第3四半期連結会計期間において1,246百万円の減損損失を認識いたしました。当該減損損失は、のれん及び無形資産に配分されており、要約四半期連結損益計算書上、それぞれ「その他の費用」並びに「販売費及び一般管理費」に含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	74,214	94,202	96,060	264,477	2,433	266,910
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	74,214	94,202	96,060	264,477	2,433	266,910
営業利益(△は損失)	10,544	5,959	6,722	23,226	△6,197	17,028
金融収益						306
金融費用						4,844
税引前四半期利益(△は損失)						12,491
その他項目						
減価償却費及び償却費	4,951	7,445	8,458	20,854	484	21,338
減損損失(△は戻入れ)	△80	—	—	△80	△36	△117

(注) 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(売上収益)

収益の分解

主たる地域による収益分解と報告セグメントとの関連は以下のとおりであります。

当社は、2025年3月期よりセグメントの内訳を変更しております（セグメント情報）参照）。なお、前第3四半期連結累計期間の主たる地域による収益分解と報告セグメントとの関連についても、この変更を反映したものに組み替えて表示しております。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	その他	合計
地域別					
日本	3,151	84,852	19,327	160	107,491
欧州	39,913	195	22,170	—	62,280
北米	16,866	10	38,830	—	55,708
その他	14,483	693	14,425	1,600	31,203
合計	74,415	85,753	94,753	1,760	256,683

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	その他	合計
地域別					
日本	2,990	93,707	16,318	171	113,187
欧州	39,965	164	23,164	—	63,294
北米	16,682	69	42,738	—	59,491
その他	14,575	260	13,839	2,262	30,937
合計	74,214	94,202	96,060	2,433	266,910